

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	24032
課題名	PET/CT 検査におけるデバイスレス呼吸同期法の有用性の検討
研究期間	研究機関長の実施許可日～ 2029 年 4 月 1 日
研究の対象	2024年3月15日～2025年12月31日までの間に、旭川医科大学病院に通院または入院し、PET/CT検査を受けた20歳以上の患者さん
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：年齢、性別、薬剤投与量、病歴、検査結果、PET/CT 検査から得られた画像情報、画像から測定した活動濃度に関する情報等） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（———）
研究の意義、目的	<p>PET 検査は、腫瘍性疾患の診断に広く使用されています。全身の PET 画像の取得はベッド位置毎に 2～3 分かかります。これにより、特に胸部下部と腹部上部の腫瘍は呼吸運動により PET 画像の品質が低下する可能性があり、またこの劣化により病変の活動濃度の測定値の低下、および病変の検出率の低下が生じる可能性があります。そこでこれらの影響を補正するための技術に、従来は必要とされた外部呼吸モニタ装置を用いることなく、収集されたデータそのものから体動情報を自動で抽出して呼吸同期を行うデバイスレス呼吸同期法があります。これにより患者さんへの外部呼吸モニタ装置の取り付けが不要になるため、検査時間が短縮され患者さんの負担軽減に貢献します。また呼吸運動を補正することにより、病変の活動濃度のより正確な測定値を取得することができ、病変の検出率の向上が期待できます。</p>
研究の方法	従来法で撮影された画像とデバイスレス呼吸同期法で撮影された結果を比較し、PET 画像の画質の改善度を評価します。
その他	<p>当研究は、診療目的で当院に設置されているキャノンの PET/CT 装置で撮像した画像を用いて行いますが、本研究の利害関係については旭川医科大学利益相反審査委員会の審査と了承を得ています、また、本研究の経過を定期的に旭川医科大学利益相反審査委員会へ報告等を行うことにより、研究者と企業との利害関係について適正にマネジメントし、公平性を保ちます。</p>
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先：</p>

所属：旭川医科大学病院 診療技術部 放射線技術部門

氏名：森 直人（研究責任者）

電話番号：0166-69-3430